



プレスリリース: 2016年06月03日  
トピック: ソフトウェア/ITサービス

## ヒューレット パッカード エンタープライズ、IoT開発における接続性を容易に

- 「HPE Universal IoT Platform」がIoTの実現に不可欠なデバイスとアプリケーションの相互運用と管理を効率化 -

2016年6月3日

日本ヒューレット・パッカード株式会社

本リリースは、ヒューレット パッカード エンタープライズ(本社: 米国カリフォルニア州パロアルト、以下: HPE)が、2016年5月10日に米国カリフォルニア州サンタクララで発表した英文リリースに基づいて作成した日本語抄訳です。

ヒューレット パッカード エンタープライズ(HPE)は、IoT World 2016において、「HPE Universal IoT (Internet of Things) Platform」の提供開始を発表しました。

Gartner社では、「IoTの端末接続数は、2013年から2020年にかけて31.7%の年平均成長率(CAGR)で成長し、208億台に到達する」と予想しています(\*1)。IoT市場が拡大し、ネットワークが広がって、より広範なデバイスが接続されていきます。その中で、通信事業者や各企業が必要とするデバイスとアプリケーションの接続、管理においてIoT事業者の求めるスケーラビリティと、多機能性を提供する必要があります。「HPE Universal IoT Platform」は、利用者に新しい機能と利便性を追加していくことで、IoTの成長を支える強力なインフラの構築を実現します。

ヒューレット パッカード エンタープライズのIoT部門ディレクター兼ジェネラルマネージャーであるナイジェル・アプトン(Nigel Upton)は、次のように述べています。「IoTの価値とは、デバイスからのデータを収集、分析し、アプリケーションに活用することで、各企業がビジネスバリューを引き出せるようになることです。「HPE Universal IoT Platform」では、

- 多種多様なデバイスと各種通信プロトコルとの連携を大幅に簡素化
- ユーザーは自社のIoTデータを最大限に活用
- 多様な“スマートエコシステム”を構築している通信事業者や企業で、大規模かつ緻密な環境で十分に検証され、数十億件のトランザクションまで拡張可能な設計になっています。

「HPE Universal IoT Platform」は、業界標準のoneM2Mに準拠しており、個別の業界やベンダーには依存しない設計となっています。これによってIoT事業者は、異種混在のセンサーの組み合わせを管理し、マシンツーマシン(M2M)デバイス上で業種別アプリケーションを運用すると同時に、単一のセキュアなクラウドプラットフォーム内で収集されたデータを処理、分析、収益化できます。「HPE Universal IoT Platform」は、接続性を強化、省電力・長距離通信向け規格、LoRa®およびSIGFOXのほか、モバイルネットワーク、その他の無線、Wi-Fi、Bluetoothなど、他の接続プロトコルもサポート可能です。

「HPE Universal IoT Platform」のその他の拡張機能は、以下の通りです。

- マルチ接続: 異なる種類のネットワークを介してデバイスと通信を行い、取得したIoTデータをoneM2M規格に準拠した一貫性のあるデータモデルでこれを保持します。
- デバイス管理: ネットワークを通じて、異種混在のIoTゲートウェイ、デバイスに対する標準規格oneM2M準拠のデバイス・ライフサイクルを管理します。
- マッシュアップ: デバイスから取得したデータに外部からのデータを組み合わせることで価値を高め、「コンテキストデータ」とすることでさらに高い見識につなげます。
- 開発者向けポータル: 開発者とパートナーに向けて、洗練されたアプリケーション開発環境を提供します。
- データ分析: 「HPE Vertica」と「HPE Haven OnDemand」を活用して、センサーから収集されたデータから意味のあるパターンを発見し、様々なビジネス上の見識を引き出します。
- データセキュリティ強化: 鍵交換とコーデックライブラリを活用し、データのセキュリティを確保します。

Machina Research社の最高調査責任者であるジム・モリッシュ(Jim Morrish)氏は、次のように述べています。「バックエンドのITシステム、多彩な接続技術からビジネスプロセスまで、国をまたがってIoTを展開しようとする事業者が直面する最大の障壁は、複雑性です。そして、サプライヤーがこうした企業に提供できる最も大切なことは、その簡素化といえます。ヒューレット パッカード エンタープライズは、事業者のIoT展開において各種コンポーネントを連携させ、複雑さを減らし、簡素化を確実に支援しています。」

フランスでモバイル、固定網、TV、インターネット、クラウドのサービスを提供するBouygues Telecom社の子会社、Objenious社は、「HPE Universal IoT Platform」とLoRaネットワークを使用することで、車両管理、遠隔検針、予防保全、位置情報など、数多くの事例に対応するIoTサービスを提供しています。

Objenious社のCEOであるステファン・アレール(Stéphane Allaire)氏は、次のように述べています。「LoRaのような、IoTを実現する最新、最先端のネットワークの構築および展開に際し、HPEとのパートナーシップは極めて有益です。ObjeniousがIoT市場をリードするソリューションを構築する上で、HPEは重要な役割を果たしてくれました。」

「HPE Universal IoT Platform」についての詳細は、  
<http://h41111.www4.hp.com/solutions/iot/index.html> をご覧ください。(英語)

**<販売開始予定>**

「HPE Universal IoT Platform」は、オンプレミス、もしくは、プライベートクラウド環境でのas-a-Serviceモデルで提供可能です。

\*1: Gartner社、「2015年IoT予測— ワールドワイドの端末接続数および関連サービス」2015年10月29日

■ プレスルーム

<https://www.hpe.com/jp/ja/newsroom.html>

# # #

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ お客様からのお問い合わせ先

カスタマー・インフォメーションセンター

TEL: 0120-268-186 (携帯、PHS: 03-5749-8279)

ホームページ: <http://www.hpe.com/jp/>

---